

日時:4月21日(土) 15:30~18:00

場所:千葉市生涯学習センター 大研修室

テーマ:『自動分析装置と細胞形態から導く血液疾患』

演題内容

演題1「CBCの異常値、こんなときどうする?~困ったときの対処方法~」

千葉大学医学部附属病院 検査部 伊藤 智里 技師

演題2「血液担当者が知っておきたい CBCデータの読み方・考え方」

千葉大学医学部附属病院 検査部 仙波 利寿 技師

~いまさらシリーズ~

演題3「みんなで考えよう。CBCから見える病態解析」

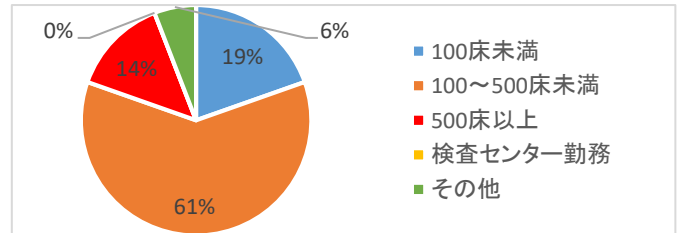
千葉大学医学部附属病院 検査部 仙波 利寿 技師



アンケート結果(回答56件)

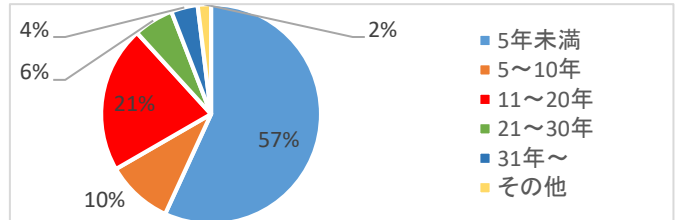
1. あなたの勤務先の病床規模はいくつですか?

100床未満	10
100~500床未満	31
500床以上	7
検査センター勤務	0
その他	3



2. あなたの血液検査経験年数は何年ですか?

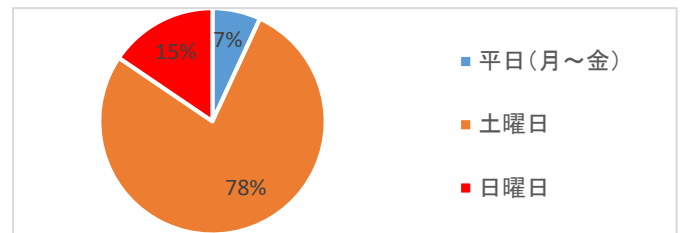
5年未満	29
5~10年	5
11~20年	11
21~30年	3
31年~	2
その他	1



3. 研修会開催について、ご希望の曜日または時間はありますか?

平日(月~金)	4
土曜日	45
日曜日	9

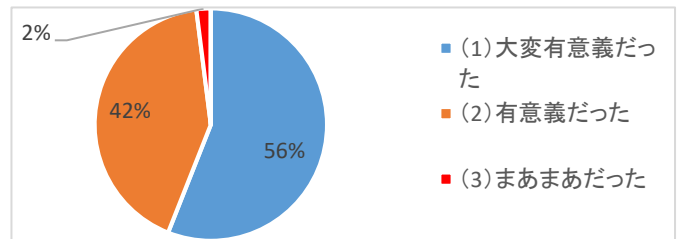
・土15時から(3) ・平日19時から(1) ・土15時30分から(1)



4. 今回の血液研修会についてどのような印象をお持ちですか?

(1)大変有意義だった	28
(2)有意義だった	21
(3)まあまあだった	1
(4)もの足りない	0
(5)非常に不満足	0

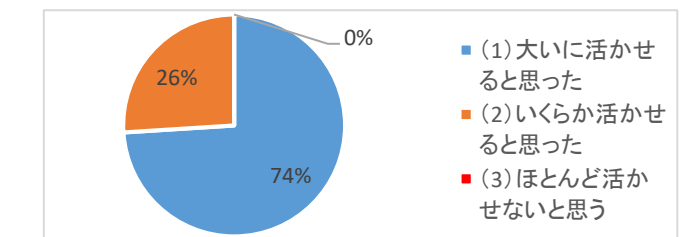
- ・検査値の見方、疑いを持つこと解決方法がわかって良かった。
- ・知識の整理と総合的な見方がよくわかりました。
- ・具体例でわかりやすい。時間ももう少しあると良い。
- ・MDSとMAのLDHデータは大変参考になります。
- ・CBCと生化学検査における関連性を改めて知れたため
- ・1年目なので重要な基礎の話が聞けてとても助かりました。
- ・CBCデータの読み方
- ・症例検討
- ・初心者には入りやすい内容でした。
- ・症例を考えるのが面白かったです。
- ・他施設のデータを見ることができて新鮮だった。



5. 研修内容は今後の職務に活かせると感じましたか?

(1)大いに活かせると思った	37
(2)いづらか活かせると思った	13
(3)ほとんど活かせないと思う	0

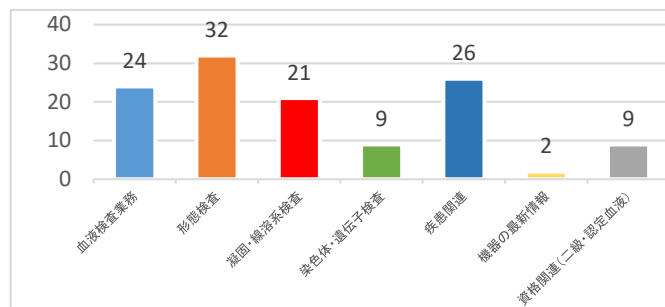
- ・療養病院のため、疾患治療を積極的には行わない
- ・大球性正色素性貧血のLDHとMCVで区別するための方法を知れてよかった。
- ・カバーガラス法はやったこと無いので、試してみたいです。
- ・特殊な検査を要しないので、今ある環境で使える知識だとおもうので。
- ・今後さらに普段の業務においてデータと疾患を考えながら見ることができると
- ・CBCデータから、他検査項目の注目すべきポイントがわかった。
- ・血液以外のデータの見方もわかりました。
- ・実際に業務に関連する内容でとても勉強になりました。
- ・MCHC>37%以上
- ・セントラルバー



6、今後の血液研修会の内容について、一番関心の高いものはなんですか？(複数回答可)

血液検査業務	24
形態検査	32
凝固・線溶系検査	21
染色体・遺伝子検査	9
疾患関連	26
機器の最新情報	2
資格関連(二級・認定血液)	9
その他	1

-フローサイトメトリー



7、今後、希望する研修会テーマはございますか？

- ・骨髓像の見方
- ・凝固線溶系
- ・検査業務で医師に報告するポイントや基準を各施設で教えてほしい。
- ・判別困難な形態の実技(異型リンパ, Blast)
- ・今回ような血液疾患の症例ごとの、データを提示して頂いて、ディスカッション形式にしてもらえたりすると助かります。
- ・凝固系で今回と同様に異常値に出会った時の対処方法、症例、データの見方などの研修会があればぜひ参加させて頂きたいです。
- ・骨髓検査

8、血液検査研究班になにかご意見はありますか？

- ・ありがとうございました。
- ・発表は嫌ですが、ディスカッションは良かったです。
- ・最後の症例の解説のプリントが欲しかった。

